HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場　秦野市平沢 2550-1　秦野商工会議所内　TEL(0463)81-1355
事務所　秦野市平沢 2550-1　秦野商工会議所内　TEL(0463)81-1355
例会日　毎週木曜日　12 時 30 分～13 時 30 分
会　長　今井茂文　　幹　事　大津俊彦　　会報委員長　柳川清紀

ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009 年～2010 年度国際ロータリー会長
ジョン･ケニー

第１１５４回例会　２００９年１１月１２日(木)(曇)

司　会　古谷スミ子副幹事

点　鐘　今井茂文会長

合　唱　「我等の生業」

祝結婚記念日　梅原君(１１／１８)

祝誕生記念日　≪奥様≫西村君(１１／１３)　≪会員≫古谷さん(１１／１２)　高橋(修)君(１１／１３)　梅原君(１１／１８)

会長報告

○　１２月５日(土)、第７グループ新会員セミナーが開催されます。詳細はＲ情報委員長よりお知らせいたします。

○　ガバナー事務所より

①　クラブ奉仕プロジェクト委員長会議開催のお知らせ
日時　１２月７日(月)　１６：００～１８：３０
場所　藤沢産業センター６Ｆ

②　米山学友主催「国際交流会」開催の案内
日時　１２月５日(土)　１４：３０開会
場所　厚木パートナーセンター４Ｆ
会費　３，０００円

○　アジア・太平洋地域の災害支援へのご協力、よろしくお願いいたします。募金箱をまわります。５００円以上のご協力を！！

理事会報告

○　秦野図書館より”ブックスタート事業“協賛について(事後報告)
職業奉仕より１０，０００円拠出。　→承認

○　アジア・太平洋地域の災害支援について
会員一人５００円以上(１１／１２(木)の例会時に募金箱を回す)。国際奉仕より１０，０００円拠出。　→承認

○　親睦旅行(東京方面)について
日時　１２月２０(日)　９：１５　秦野商工会議所集合
９：３０　出発
行き先　NHK ホール見学・昼食
浜松町　劇団四季「ウエストサイド物語」(観劇)
夕食　築地「喜代村」(すし料理)　→承認

○　新会員入会手続きについて
入会申込書、会員推薦書を新しく作成し、今後使用する。
→承認

○　指名委員会について
日時　１１月２６日(木)　１８：００～
場所　やなぎ家本店
会費　５，０００円

会員数	38 名
出席数	30 名
出席率	78.95%
前々回の修正	91.89%

メークアップ	[事前] 桐山君　原君(地区) [事後]相原君(秦野)　田中君 (秦野中)

本日のプログラム	１１月１９日 ○　卓話　西村君

次週のプログラム	１１月２６日 ○　卓話　酒井君

幹事報告

[週報受理]　茅ヶ崎

[受付文書]

① ちっちゃな星の会作業所より　今後の予定

② グランドホテルより　忘・新年会等の案内

③ 秦野商工会議所より

就任及び退任の挨拶状

スマイル報告

○ 今井茂文君 「スマイルします。今月は寄付が続きますが、ご協力をお願いします。R 財団、米山奨学生、それにアジア太平洋地域の災害支援に真心ある寄付を！！」

○ 大津俊彦君 「昨日と今日は肌寒い一日ですね。体に気をつけましょう」

○ 西村隆之君 「来週１９日、卓話デビューです。１８(水)にも講演予定があるのですが、卓話が気になり、１８日の準備ができません。妻への誕生日祝い、ありがとうございます」

○ 高橋修平君 「誕生祝い、ありがとうございます。」

○ 古谷スミ子さん 「誕生祝いを頂き、ありがとうございます。今日の誕生日を家族は誰も覚えていません。３６５分の１ですから。お祝い下さるのはロータリーの皆様のみです。感謝しています」

○ 高橋秀樹宣君 「いつも皆様お世話になっています」

○ 高橋幸雄君 「私の庭も紅葉が始まり、冬の足音がそこまで来ています。インフルに気をつけましょう」

○ 神崎達朗君 「スマイルします」

○ 相原　宏君 「スマイルします」

○ 田中宏一郎君 「スマイルします。明日、米大統領が来日します。四つのテストを聞かせてあげたいですね。風邪に気をつけましょう。本日もよろしくお願いします」

○ 諸星道治君 「スマイルします」

○ 加藤一也君 「今日は入会して初めての卓話です。イヤダナ！早く帰りたいです。スマイルします」

○ 北村まり子さん 「指宿に行ってきました。桜島がとてもきれいでした」

○ 真壁　仁君 「初めてスマイルさせていただきます。今後ともよろしくお願いします」

○ 河野治男君 「所要のため、早退します。すみません」

○ 瀬戸　誠君 「１２月の家族親睦は家族４人で参加させて頂きます。ご負担をおかけしてすみません」

合計 54,000 円

委員会報告

○　ロータリー財団委員会　柳川清紀委員長

普通寄付金(２０，０００円)今月中に事務局までお願いいたします。

○ロータリー情報委員会　高橋修平委員長

ガバナー補佐主催「第７グループ新会員セミナー」開催について

日時　１２月５日(土)　１５：００～

場所　秦野商工会議所　４F

対象　入会３年未満の会員

※岩本英貴君　梅原正美君　加藤一也君

北村まり子さん　兒玉秀夫君　瀬戸　誠君

西村隆之君　淵脇美代子さん　諸星道治君

山本裕宣君　真壁　仁君　　計１１名

欠席の場合は事務局まで申し出てください。

○　米山記念奨学委員会　高橋修平担当理事

寄付金１５，０００円は１２月中に集金させて頂きます。

○　温泉テニス同好会　高橋修平会計

「忘年会」開催のお知らせ

日時　１２月７日(月)～８(火)　１泊

場所　湯河原温泉「阿しか屋」

集合　秦野商工会議所　１５：００

会費　１０，０００円(特別参加者１３，０００円)

※多数の参加を！楽しみましょう！

○　親睦活動委員会　酒井健一委員長

「家族親睦会」(忘年会)について

日時　１２月２０日(日)

集合場所　秦野商工会議所

集合時間　９：１５(９：３０出発)

内容　NHK ホール見学、昼食、劇団四季「ウエストサイド物語」、夕食(築地・喜代村　寿司料理)

※各会員に直接確認して出欠をとっています。

卓話

「自己紹介」　加藤一也君

私は昨年８月に再入会です。

卓話とは？ＨＰでどのような内容が話されているか調べてみました。その中にロータリーに関する話以外に、自己紹介、仕事、趣味などなどが載っていました。これなら私にもお話しできると思い、初めての卓話は自己紹介。今、なぜこの場所に立って、卓話をすることになったかをお話しさせて頂きます。

再入会した時の神崎さんのスマイルで、「月光仮面のように、はやてのように来て、はやてのように消えて行ってしまった。加藤さんの事がわからないうちにいなくなってしまったので、今度はずーっといてください」と言われました。私が再入会を決めたのは妻と瀬戸さんのおかげです。

私は昭和３４年２月１８日秦野生まれ、５０歳になりました。地元の小・中、昭和５２年に地元の高校を卒業。あまり勉強せず２浪して東京のある大学に入学。４年間で卒業。昭和５７年、富士通に入社。サラリーマンとしてちょうど５年間勤めました（昭和６２年３月退職）。結婚は昭和５９年ですが、妻とデートした江の島の帰りに、平塚の平安閣でトイレを借りたのが縁で結婚式場として決め、結婚しました。その間１年ありました。昭和６１年１月、行政書士に合格。富士通のコンピュータ関係にはついて行かれないと思い、サラリーマン時代から行政書士の勉強をしていました。なぜ５年間勤めていたかと申しますと、私の考えで次の勤め先に行くときに、「なんだ、これしか勤めていないのか」と思われるのが嫌で、区切りとして５年間としました。退職した時に古谷スミ子さんのご主人が司法書士の事務所を紹介して下さり入所、平成元年に社会保険労務士の事務所にうつり、一生懸命勉強し、平成４年１１月に社会保険労務士の試験に合格。平成５年７月に社会保険労務士と行政書士として独立開業しました。妻と結婚しなければずーっとサラリーマンだったと思います。

もう一人は瀬戸さんです。平成８年、ＪＣに入会しました。その時に瀬戸さんと出会いました。初めてのＪＣの時、総務委員として受付にいて、話しかけてくれました。それがきっかけでロータリーへの入会を勧めてくれました。梅原さんもＪＣで同期です。でもその間に瀬戸さんと梅原さんはさっさとＪＣをやめてしまいましたが、お付き合いはずーっと続いていました。

ロータリーへの入会を勧めたのは、本当はもう一人の人を入会させたくて、飲み会を開きました。私にも同席してほしいという事で、入会を薦めましたが、意志が固く、瀬戸さんが困っているのを見て、私が入会させていただくことになりました。ここに立ってお話しできるのは、女房と結婚したことと、瀬戸さんに知り合えたことです。二人にありがとう、です。

◎三分間スピーチ

○　木村真澄さん

秦野市のブックスタート事業に名水ＲＣからも協賛金を頂戴して頂き、ありがとうございます。

世の中が変わり、子供たちが生活しにくくなっています。いじめ、不登校や子供が親を殺してしまった等の事件が起きています。親子のコミュニケーションを図る事が大切ではないかと考え、本を通して親子が触れ合えるようにと昨年の議会で提案させて頂きました。昨年の１２月にこの事業がスタートしました。子供たちを皆で支えて、心豊かに育っていかれるように、今度もご支援をよろしくお願いいたします。

ブックスタートとは、生後７か月の検診の時に本がプレゼントされる、というものです。

○　古谷スミ子さん

小学校１年生の子供たちに本を読み聞かせします。字は大きく、絵ばかりの本なので５～６分で終わりますが、その間、子供達は空想の世界で遊びます。「おじいさん、おばあさんがいました」という言葉だけでも、それぞれの子供はそれぞれのおじいさん、おばあさんを想像します。テレビの画面とは違います。これを繰り返し行うことにより、子供たちの心が豊かな感性を持つようになります。私の教員時代の体験です。

これを７カ月からお母さんと二人での触れ合いとして始める事業、ブックスタート。素晴らしいことだと思います。

災害支援への募金活動、ご協力ありがとうございます！

MEMO